

23rd UNIVERSIADE 2005 IZMIR

gold medalist of

JAPAN

Football team



福岡大学
高橋 大輔 (4年・FW)

たかはし だいすけ / 柳川高校出身 9分
常にゴールを意識したプレーで持ち味を出した。



東京学芸大学
金澤 大将 (4年・MF)

かなざわ ひろまさ / 藤枝東高校出身 15分 1アシスト
アイルランド戦では相手の背後を上手につき勝利に貢献。



中央大学
辻尾 真二 (2年・MF)

つじお しんじ / 初芝橋本高校出身 23分 1アシスト
決勝トーナメントに入り、調子を上げてきた辻尾は、持ち前にスピード豊かなドリブルで相手を翻弄した。

大きなプレッシャーをはね除け、前人未踏の3連覇を飾ったサッカー男子・日本代表。ここでは全スタッフ紹介と共に、大会を通じてのMVPを本誌が勝手に選出！10日間という短期間の大会に、ターンオーバー制を用いた乾戦術の中で、見事MVPを獲得したのは、MFながら堂々の6ゴールをマークし攻撃の軸として大車輪の活躍を見せた藤本淳吾（筑波大学）で決まり！



駒澤大学
巻 佑樹 (3年・FW)

まえ ゆうき / 国見高校出身 29分
お馴染みの前線からのプレスはもちろん、高さを活かした攻撃の起点となった。



コーチ
松本直也 < 桃山学院大学 >
昭和46年7月18日
174cm・71kg
上級コーチ
時に優しく、時に厳しくチームにメリハリをつけた。



監督
乾 真寛 < 福岡大学 >
昭和55年5月22日
173cm・71kg
監督
3連覇を成し遂げた名将。選手の信頼も厚い。



総務
宮崎純一 < 青山学院大学 >
昭和38年8月24日
168cm・75kg
上級コーチ
独自の練習方法を取り入れチームに活力を与えた。



GKコーチ
柳楽雅幸 < 横浜マリノス >
昭和33年4月25日
189cm・95kg
上級コーチ
メンタル面から技術面までGKをサポートし続けた。



ドクター
森 孝久 < 松山十字病院 >
昭和38年7月16日
178cm・85kg
ドクター
的確かつ迅速な対応で選手をケアした。



トレーナー
徳山真也 < 特選ボクシング >
昭和39年8月20日
173cm・78kg
トレーナー
選手の体調を管理し選手を大きな怪我なく優勝させた。

こまつ るい / 高知追手前学院高校出身 24分 2ゴール1アシスト
長身ながら足下の巧さを兼ね揃えた日本版P・クラウチ。決勝は2ゴールと爆発した。



本誌 MVP
藤本 淳吾 (4年・MF)

ふじもと じゅんご / 桐光学園高校出身 43分 6ゴール
大会前の練習では足の指の怪我でコンディションが心配されたが、そこは日本のNo.10。6ゴールで大会のMVPに選出！！



通訳
オルハン・ボソクル
不明
不明
現地通訳
熱き日本魂を持ったトルコ人。チームのムードメーカー。



関西学院大学
小松 塁 (4年・FW)



筑波大学
藤本 淳吾 (4年・MF)



流通経済大学
飯塚 渉 (2年・GK)

いづか わたる / 難関学園高校出身 0分
出場は無いがのレギュラーとも遜色ないスキルを持ち主



福岡大学
赤星 拓 (3年・GK)

あかはし たく / 福大大塚高校出身 90分
安定したセーブで開幕戦の勝利をもたらした。